

哲學研究

第 三 卷 第 七 冊

第 二 十 八 號

大 正 七 年 七 月 一 日 發 行

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正七年六月二十七日印刷納本(每月一回一日發行)

心情の無限……………	文學士 西 晋一郎
感 情……………	文學博士 西田幾多郎
司馬遷の經學……………	文學博士 狩野直喜
心理學と客觀的方法……………	文學士 檜崎淺太郎
識別作用の非相稱性に關する實驗的研究(承前)……………	
……………	文學士 千葉胤成
彙報……………	
新著紹介……………	

京 都 帝 國 大 學 文 科 大 學 內

京 都 哲 學 會

雜
204

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓八拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員	
文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學士	植田壽藏
文學士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
書記	寶嚴方治

見受けた。此等もまた再考を要する點であらう。次に活字の錯誤及び脱落等も随分少なからず認められた。さらでに譯文は文辭澁結して理解し難い性質のものであるから、其の校正には周到の注意が望ましい。又如何なる譯であるか、第二部の定理二十七の證明及び定理二十八は全く脱落し、又第四部定理五十七の備考の最後の一句も脱落して居る。(予の心附いた處では、此等は改訂の際に増補せられん事を望む。又た吾人の希望としては、本書の主要項目の索引と、その主要概念の經典原語及び英獨の主要譯書と邦譯との對照表を卷末に添附せられたならば、研究者に取つて甚だ便利であらうと思ふ。尙ほ譯文の體裁に就ていへば、公理や定義及び定理等を、他の證明や備考の部分と、一見判然と區別し易い様に、活字の様式や組方を幾分變へるのも、一の方法であらうと思ふ。又た譯者は本書の譯出に、全部口語體を用ひて居られるが、其中の公理や定理等は、あの簡潔な、雄勁な、古典的で且つ幾分

經典的な調子を表す爲に、寧ろ緊密な文章體を用ひられては如何であつたらうかと思ふ。而し兎に角、此の面倒な仕事を、幾多の困難を凌いで、是れ迄に仕上げられた譯者の勞を多とせざるを得ぬ。若し此の譯書に縁つて、此の絶東の帝國に、一人でも眞のスピノザの味解者が出来、或はその理解が深められたならば、夫の知己を後世に待つたスピノザは如何に満足に思ふであらうか。妄言多謝。岩波書店發行、定價二圓五十錢。(安部晴之助)

寄贈雜誌

哲學雜誌、思潮、丁酉倫理講演集、心理研究、六合雜誌、東洋哲學、東亞之光、早稻田文學、學校教育、教育、内外教育評論、普通教育、教育界、中等教育、教育時評、東京教育、兵庫教育、奈良縣教育、静岡縣教育、滋賀縣教育會雜誌、岐阜縣教育、三重教育、愛知教育雜誌、長崎縣教育雜誌、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、薩備教育、宮城教育、愛媛教育、山形縣教育、

前 號 目 次

感 覺.....	文學博士 西 田 幾 多 郎
識別作用の非相稱性に關する實驗的研究.....	文學士 千 葉 胤 成
ロツエ 妥當性の由來(承前).....	文學士 錦 田 義 富
美學の基礎に就ての考察(完結).....	文學博士 深 田 康 算
フイドラー「近代自然派と藝術との眞」.....	文學士 勝 部 謙 造

會 告

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會
文科大學內 振替口座大阪參〇六六參番

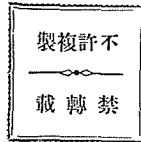
冊	冊數	定價	價	郵	稅
一	冊	金貳拾五錢	金壹	圓	錢
六	冊(前金)	金壹圓五拾錢	圓	不	受
十二	冊(前金)	金參圓	圓	不	申

廣告料 一頁 金拾圓 半頁 金六圓

註 文 規 定

- ◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正七年六月二十七日印刷納本
大正七年 七月一日發 行
第二十八號 第參卷 第七册



編輯者 京都帝國大學文科大學內 京都哲學會

右代表者 寶嚴方治

發行者 大葉久吉

印刷者 青柳十一郎

印刷所 秀英舍第一工場

發行所

東京日本橋區本石町三丁目
(振替口座東京二八〇番) 寶文館

發賣元

東京市日本橋區本石町三丁目
大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館
(京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

趣味津津哲理深遠なる人生の側面觀

京都帝國大學
文科大學講師

文學士 成瀬

清著

布製 頗美本

菊版 四百頁

定價金壹圓五十錢

送料 金十二錢

最新刊

笑の研究

猿の笑、嬰兒の笑より、惡魔の笑、神の笑に至るまで、笑の起源發達を説き、ユーモアの本體を究め、例を東西の文學に求め、百姓、飲酒家、盜賊、香具師、商人、役人、僧侶、軍人、幫間、食客、馬鹿、奴隸、女、老人、惡魔、自惚家、守錢奴、偽善家、道學者、悲喜劇人物等を拉し來つて縱横に論評し、最初に笑と人生觀との關係を説き、譏諷、自嘲、樂天等の態度を明かにし、尙附録としてヘツケルの「笑及滑稽の生理」及リツプスの「滑稽及ユーモア論」を紹介せり。

刻下必閱の快著

笑ふ人笑はぬ人笑へぬ人笑ひ過ぎる人は讀め

哲學研究

第二十八號

第三卷

大正七年七月一日發行

（每月一回發行）

（大正五年四月六日第三種郵便物認可）

定價金貳拾五錢

東京市本區橋本二丁目八番 寶文館 大阪市東區淡路三番